発表番号　6　　高松市立林小学校

1　研究主題

情報活用能力を活用し、自ら探究する子どもの姿をめざして

2　研究の具体

一人１台のタブレット端末の整備による GIGA スクール構想が急速に進められている。そうした環境を有効に活用するために、学びの基盤となる ICT を活用するスキルや情報を収集、整理、発信するなど情報活用能力の育成が重要となっている。今年度、「情報活用能力を活用し、自ら探究する子どもの姿をめざして」をテーマに、次の３つの視点から研究に取り組んでいる。

視点１　情報活用能力の育成をめざした教科年間指導計画の作成

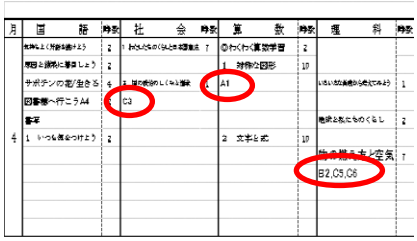
① 高松市 ICT 教育推進計画に基づいた情報活用能力（高松モデル）をもとに教科年間指導計画案を作成
② 情報活用能力の系統性を踏まえた単元計画の作成
③ プログラミング学習の推進
④ 情報モラル学習の推進（道徳科、学級活動、総合的な学習の時間）

視点２　教科等の本質に迫る ICT の効果的な活用と指導の工夫

① 教科等の本質に迫るための教材研究
・単元構想図の作成
・学習支援ツールの活用
・デジタル教材の活用
② 学び合う学習方法・学習形態の工夫（一斉・個別・協働）

視点３ 日常的な ICT の活用と運用の工夫

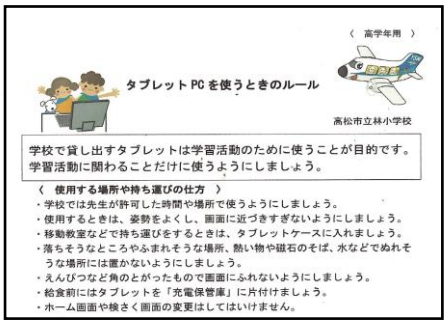
① 日常的なタブレット PC の活用と使用時のルールづくり
② 児童の基本的な ICT 活用スキルの向上
③ 教員の ICT 活用指導力向上研修



情報活用能力を位置付けた教科年間計画の作成

学年団で年間計画を作成

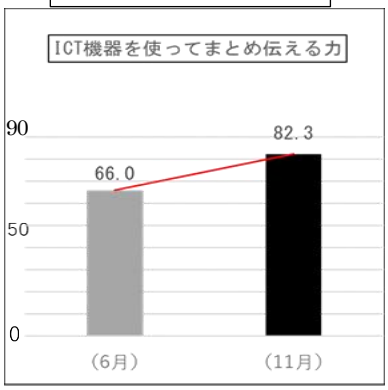
協働での意見整理



タブレット PC を使うときのルール

教員の ICT 活用指導力向上研修

児童アンケートより



3　研究の検証及び改善の手立て（児童・教員アンケートより）

〔成果〕・課題であった、児童の考えをまとめ伝える力が、昨年度より 16.3%伸びた。
・タブレット PC を活用して、情報収集力が 16.0%向上した。
・教員の ICT 活用意欲が 28.1%向上し、指導力が向上した。

〔課題〕・思考を深める場面でのタブレット PC とノート指導との併用。
・ICT を適切、安全に使いこなすネットリテラシーの育成。